

まちづくり懇談会を開催しました

町民の皆さん意見や提案を町政運営に反映させるため、書面と電子メールによる「まちづくり懇談会」を開催しました。地域が抱える課題だけでなく、新型コロナウイルスに関することなど、45名から計107件の意見等が提出されました。主な意見や提案をお知らせします。



湯本線と追分・黒磯駅線の2路線を走る町民バス



町内に設置されている防災行政無線

防災ラジオの導入

意見等

町民の命を守るために大切な情報が全町民に行き渡るようにさまざまな手段を整えておく必要があると思う。防災行政

無線のスピーカーからの音声が聞こえにくい時のために、電話で音声案内を聞くことができ、スピーカーで流れる一部の内容

は「那須町防災ウェブサイト」や「那須町安全安心メール」で配信されることも知っているが、もとと確実にするために防災行政無線戸別受信機（防災ラジオ）の導入を考えてほしい。

町内全ての住民に情報が行き渡らない現状について、防災行政無線戸別受信機の導入の検討も行つてきました。しかし、戸別受信機を活用するためには電波の状態を各戸調査しなければならず、屋外アンテナの設置が必要であつたり、設置しても受信できる部屋が限られるなど

の課題もあります。

保育園と保護者の情報共有

意見等

新型コロナ病毒感染症の影響を受け、保育園の行事に制限がかかりすぎる。ワクチン接種も進んでいる中、安全ばかり気にして、子どもは思い出作りが何もできない。

このも未来課 保育園は、昼間家庭に保育者がいないお子さまをお預かりしており、行事の開催については慎重に検討しています。新型コロナの流行度に応じた実施基準を設け、安全安心を念頭に行事等を実施します。

共有の方法をアノログからデジタルにできないか。一斉メール配信（田んぼの目メール）は不

一人でも多くの住民に情報が行き渡る手段や対策を継続して調査研究してまいりますのでご理解とご協力をお願いします。

保育園の行事の制限

意見等

新型コロナ病毒感染症の影響を受け、保育園の行事に制限がかかりすぎる。ワクチン接種も進んでいる中、安全ばかり気にして、子どもは思い出作りが何もできない。

このも未来課 保育園は、昼間家庭に保育者がいないお子さまをお預かりしており、行事の開催については慎重に検討しています。新型コロナの流行度に応じた実施基準を設け、安全安心を念頭に行事等を実施します。

安定なため、送信後に対面で確認していると聞く。また、紙ベースの情報伝達が行われている。情報共有の効率化を図るべきだと感じる。

「子ども未来課」

令和3年度に登園システムを導入し、専用アプリから保護者へ一斉メールを配信することができるようになります。

そのため、本格運用後に田んぼの目のメールは廃止します。

これらのシステムを活用しペーパーレス化、保護者への情報共有の効率化を図っています。

町の公共交通

意見等

町の公共交通が全て不便である。黒田原駅から那須塩原駅で新幹線に乗るのに1時間以上かかる。せめて40分くらいで乗り継げたらと思う。デマンド交通もバスもあるが、多くが駅に30分前に着いてしまう。

ふるさと定住課 これまで、JRのダイヤ改正等に合わせてダイヤの見直しを行つてきました。今後もより利便性が高まるようダイヤの見直しを行つていきた

いと考えています。

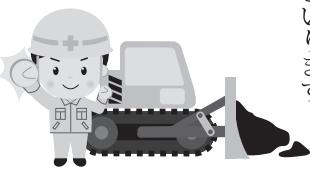
県道の整備

意見等

黒田原から高久駅を経由し黒磯へ向かう道路が狭い。とくに高久駅前のクランクと、高久駅を過ぎてからの道幅が狭い。改良できないか。

建設課

当該道路については、現在、県において道路改良の計画が進められていますので、町としても早期の完了に向けて要望・協力してまいります。



公共交通網の改善

意見等

那須温泉旅館協同組合が行つてある宿泊客無料送迎システム、町民バス、デマンド交通